



きょうのきゅうしょく



7月5日(水)



ごはん
ぎゅうにゅう
さけのマリネ
ゆでキャベツ
ぶたもやし



きょうのきゅうしょくに
つかわれているしょくひんは…?

あかのグループのしょくひん	きいろのグループのしょくひん	みどりのグループのしょくひん
ぎゅうにゅう さけ ぶたにく	ごはん でんぷん さとう べにばなあぶら あぶら ごま	にんじん たまねぎ きゅうり キャベツ もやし えのきたけ チンゲンサイ

もやしのはなし

もやしの栽培は、人類が初めて植物の種から芽が出ることを発見したことから始まったそうです。

日本では、平安時代の本に、黒い豆のもやしを薬として栽培していたことが書いてあります。主に病気を治したり予防したりすることに使われていました。明治の終わりごろからもやしを専門に栽培する人が現れ、中華料理店にもやしを売るようになりました。そして、もやしが一般の人々に広まったそうです。

給食で使っているもやしは、はつかいちしあさはらちいき 廿日市市浅原地域で育てられたものです。今日は「豚もやし」の中に はつかいちしあさはらちいき たくさんのもやしが入っています。残さずにしっかり食べましょう。

年 組